「今、使うべき営業ツール3選」 解説書付き







提案後に連絡が付かなくなり

いつの間にか コンペ負けしていた

見込み客に資料を送ったけど

レスはないし 電話もつながらない

大筋合意していたのに **知らぬ間に 契約見送り**になっていた







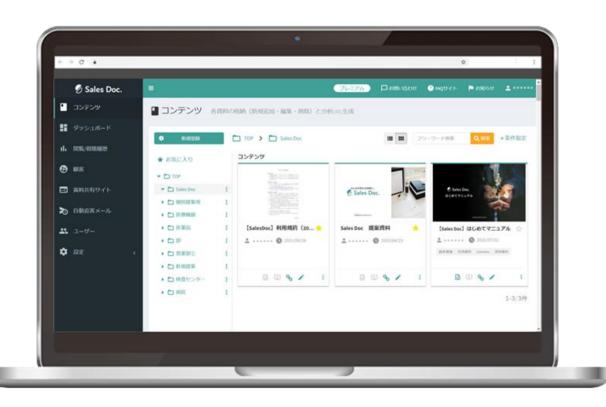
調査元:株式会社Innovation&co. 調査方法:Webアンケート

対象数:395名



Sales Docは営業向け追客ツール

送った資料や動画が「いつ・誰に・どれくらい」閲覧されているのか トラッキングできる営業担当者向け"追客ツール"です。





追客のポイントは"顧客行動の可視化"

MAツール



- WEBサイト上の顧客行動を可視化できるツール
- 不特定多数の見込み顧客から、WEBサイト上の 顧客行動や、メールの開封履歴により確度の高い 見込み顧客を発見できる

Sales Doc



- 営業が直感的に活用できる1to1追客に特化したツール
- 送付した資料上の顧客行動を可視化でき、特定の 見込み顧客に対して、送付した資料の閲覧状況より、適切なアクションを可能にする



資料の閲覧状況をもとに、効率的かつ効果的な追客を行うことができます

資料の「閲覧有無データ・閲覧ページ」をもとに

「追客タイミング・追客手段・追客内容・追客しない」など適切なアクションを可能にします



この顧客が資料を見た!

このページをよく見ている!

優先順位に応じた アクション



新規のアポ取り

営業担当者

これまで 営業電話に「とりあえず資料をください」 見込み顧客 ブラックボックス (資料送付後の顧客行動が不明) とりあえずアポ打診! 営業担当者

Sales Docを使ったら



関心の高そうな事例を紹介したいと アポ打診!



初回商談後フォロー

営業担当者

これまで 本日は商談ありがとうございました。 ご提案資料を送付します。 営業担当者 ブラックボックス (初回商談後の顧客行動が不明) すみません。今回はなしで! 別のサービスに決まりました。 見込み顧客

Sales Docを使ったら



競合サービスの情報についてもう少し詳しい情報

をご提供いたします!



クロージング活動

これまで



見積書を送付いたします。

決裁申請はo月o日とのことでしたので、その頃 にまたご連絡させていただきます。

ブラックボックス

(見積書送付後の顧客行動が不明)



すみません。 今回、見送りになってしまいました。 またの機会にお願いします。

Sales Docを使ったら



見積書を送付いたします。

決裁申請はo月o日とのことでしたので、その頃 にまたご連絡させていただきます。

ブラック ボックスが なくなる! 決裁日が近づいたのに、

Sales Docから資料の閲覧通知がない!





常業担当者

社内決裁のお手続きの状況はいかがですか? 追加で必要な情報などありましたら、 ご連絡ください。



いつもの営業資料をSales Docにアップして、URLをメールで送るだけ





顧客が資料をみたことを感知して、リアルタイムに通知します







どの資料のどのページを何秒みたかまで、顧客の閲覧状況が詳しくわかるようになります





資料を利用するさまざまな営業シーンで活用いただけます



新規のアポ取り

顧客が資料を「閲覧しているタイミング」と「閲覧している内容」に応じてアポ取りができるようになります。



商談準備

商談前に相手が最も知りたいと思って いる興味ポイントや課題感などを事前 に把握できます。



クロージング活動

商談後に相手の「提案資料閲覧状況」 を可視化することで、営業担当者は受 注確度が高い顧客を把握できます。



アップセル/クロスセル

既存顧客向けの資料格納サイトを簡単 に作成可能なので、既存顧客に対して 闇雲にアプローチする必要がなくなり ます。



ナレッジシェア

各資料の「商談方法」や「説明方法」 を動画にして格納可能なので、チーム に入った新メンバーもすぐに営業資料 を活用できます。



活動分析

各営業担当者が「どの資料」を「どれ くらい」送付していて「どれくらい閲 覧いただけているのか」を自動で分析 できます。



500社以上の企業様に導入いただいています





















活動の可視化でチーム力を底上げ 営業活動の戦略立案にも



株式会社インフォマート

Alnfo Mart Corporation

事業内容

BtoB(企業間電子商取引 プラットフォームの運営

従業貝規模

529名(正社員463名/派遣66名 2020年3月末現在)

Sales Docを導入したきっかけや理由についてお聞かせください。

弊社の商材は、お客様に資料をお送りして内容をご理解いただき、さらに説明を重ねてようやく契約に至る、という種類のものです。ですからインサイドセールスにおいては、お送りした資料をそもそも読んでいただけたか、どこまで理解していただけたかというところが、お客様との会話の大事なスタート地点となります。にもかかわらず、弊社では多くの場合、お客様の資料の閲覧状況や関心がまったくわからない状態でコールしなければなりませんでした。Sales Docでお客様の行動を事前に把握、理解できれば、結果としてもっといい商談ができるようになるかもしれないと思ったのです。お客様に資料をお送りしたあと、私たちの知らないところで案件の温度が上がったたとき、それを感知して拾えるようになります。あるいは、たとえば100件の資料請求があって、これまではその中の

確度の高そうな20件だけを追いかけていたとします。しかし、成果分析機能で案件の傾向を分析した結果、実は3か月ぐらい経つと確度の上がる案件が100件中さらに3件ぐらいある、とわかるかもしれない。そうなれば、マネージャーにとって営業戦略を立てる上で非常にありがたく、機会損失の低減につながります。そういうフィールドセールスの案件管理の部分で活用したいと考えています。Sales Docの成果分析機能でメンバーの活動量などを見れば、今チーム内でなにが起きているのか、ハイパフォーマーとローパフォマーの違いはなんなのかがわかってきて、マネージャーが戦略を立てやすくなる。チーム力を底上げ



したいという企業様には特におすすめしたい機能です。加えて、どのお客様が資料のどのページに興味を持ち、どこで離脱したかというデータに応じて、コンテンツを作り変えられるようにしたいと思います。





Sales Doc導入後、営業・マーケティングの仕方にどんな変化がありましたか?

営業資料をお送りしたお客様の閲覧状況や興味関心がわからないことが、インサイドセールスチームにとって大きな課題でした。弊社は、さまざまなサービスを取り扱っているということもあって、よくある"数撃てば当たる戦法"はやめて、「大事なお客様に対し、本当に望んでいる情報を提供する」という活動コンセプトをなにより大切にしてきました。もちろんその上で、資料の送付は非常に重要な施策です。Webコンテンツだとどうしても汎用的な内容になりがちなので、それぞれのお客様に最適なドキュメントファイルを作成し、それをお送りする必要があるわけです。ところが、ドキュメントファイルというのは通常、Webコンテンツのようにマーケティングオートメーションツールで閲覧状況などをトラッキングできません。お客様にお送りしても、どの部分に興味を持っていただけたかがわからない。そもそも資料を読んでいただけたかどうかさえわからない。そこが大問題だとずっ

と思っていました。SaleDocの導入によって、大きく変わったのは、資料の閲覧 状況を把握できるようになったことで、**お客様の"温度感"がわかるようになり、 ある程度優先順位をつけて確度の高い方からアプローチしたり、興味関心に沿っ てお話ししたりできるようになったこと**です。「電話での感触はさほどよくなかったけれども、何度も資料を読んでいるのだから、実は温度感の高いお客様だ な」とか、そういうことがわかるようになった結果、コールして結局なにも得られなかった、というケースは格段に減ってきています。資料の閲覧状況から、



どんなページがお客様に好まれているかを 分析して、コンテンツに反映させていきた いと考えています。加えて、たとえばカス タマーサクセスにおいて、現状ではメール ベースでやり取りしている月次のレポート を資料という形でSales Docで共有するな

ど、インサイドセールス以外での活用も検討しています。資料というのは、お客様のためを思えば思うほど、種類やバージョンが増えていくもの。それらを社内で簡単に共有したい、お客様に最適な資料を送れる体制を整えたいという企業様は、絶対にSales Docを導入したほうがいいと思います。



たくさんのユーザーからご評価をいただいています

アポイント率、商談率、案件率、受注率の全てに効果がありました。

閲覧状況を元にトークができるのでセ ールス担当者の 心理的ストレスが軽減されました。 この効果はかなり大きいと感じました。



閲覧情報を元に事前準備をしてか らトークができるので、 会話に奥行きができてお客様から の信頼が増したように思います。







プラン名	ライト	スタンダード	プレミアム
初期費用	100,000 円	100,000 円	100,000 円
月額費用	30,000 円 / 月	60,000 円 / 月	90,000 円 / 月
ユーザー登録数 上限	10	15	20
ユーザー追加費用(1ユーザーあたり)	3,000円 (11名以降~)	4,000円 (16名以降~)	4,500円 (21名以降~)
コンテンツアップロード数 上限	無制限	無制限	無制限
コンテンツアップロード容量 上限	無制限 (pptx/xlsx/pdf)	無制限 (pptx/xlsx/pdf)	無制限 (pptx/xlsx/pdf/mp4)
顧客登録数 上限	無制限	無制限	無制限
閲覧トラッキング機能	0	0	0
資料フォルダ管理機能	0	0	0
資料タグ管理機能	0	0	0
資料閲覧通知アラート機能	0	0	0
ダッシュボード機能	0	0	0
メールテンプレート機能	O (1パターンのみ)	O (無制限)	〇 (無制限)
資料の自動パスワード設定機能	0	0	0
資料バージョン管理機能	0	0	0
資料共有サイト作成機能	0	0	0
自動アポ打診ポップアップ機能	0	0	0
資料閲覧分析機能	0	0	0
社内向け資料解説動画	0	0	0
顧客データの一括インポート/ダウンロード機能	0	0	0
日程調整ツール連携機能	0	0	0
Box連携機能	0	0	0
Slack連携機能	0	0	0
成果分析機能(営業担当毎/コンテンツ毎)	-	0	0
Salesforce連携機能	-	0	0
自動追客メール	-	0	0
自社サイト連携機能	-	-	0
動画視聴トラッキング機能	-	-	0

「今、使うべき営業ツール 3 選」解説書



1

自動日程調整ツール

2

ビジネスチャットツール

3

セールスイネーブルメントツール









自動日程調整ツール



商談や会議などの日時を決める時に、「以下の日程はいかがですか?」と連絡して、お互いの空いてる日程を擦り合わせて、会う日時を決めますよね?この時に発生する下記の作業時間をほとんど自動化するのが日程調整ツールになります。

【削減できるタスク】

- ・メールやチャットで「以下の日程はいかがでしょうか?」と確認
- ・相手との日程が合わない場合は、再度調整
- ・来客の場合、会議室を仮予約
- ・Web会議の場合、会議用のURLを発行して相手に送付
- ・日程が決まり次第、他の仮押さえ日程をカレンダーから削除

例えば、こんなツールです。(無料で使えるツールもあります!















ビジネスチャットツール



リモートワークが増えてきたこともあり、社内チームのコミュニケーションをなるべく 「オンライン上で」かつ「一か所に集約」して行いたいという企業が増えています。加え て、顧客とのコミュニケーションもビジネスチャットに集約するケースも増えています。

【メールコミュニケーションとの違い】

- ・スタンプ等のカジュアルなやり取りが可能になる。
- ・複数人が同時に情報をシェアできるようになる。
- ・情報の検索が容易になる。
- ・プロジェクトやチームによって会話をグルーピングできる。
- ・「冒頭の挨拶」「名乗り」「結びの言葉」等の無駄な文章が不要

例えば、こんなツールです。(無料で使えるツールもあります!















セールスイネーブルメントツール



営業が使う資料や動画を簡易的に分析/解析できるようにして、商談の獲得数や受注の獲得数を増やすためのツール。まだほとんどのツールが欧米メーカーのものだが、国内でも 導入企業が増えてきている。

【導入メリット】

- ・イケてる営業コンテンツがすぐにわかる。
- ・改善すべき営業コンテンツがすぐにわかる。
- ・顧客の資料(や動画)の閲覧状況が把握できる。
- ・営業パーソンのトレーニングが容易になる。

例えば、こんなツールです。(無料で使えるツールもあります!











